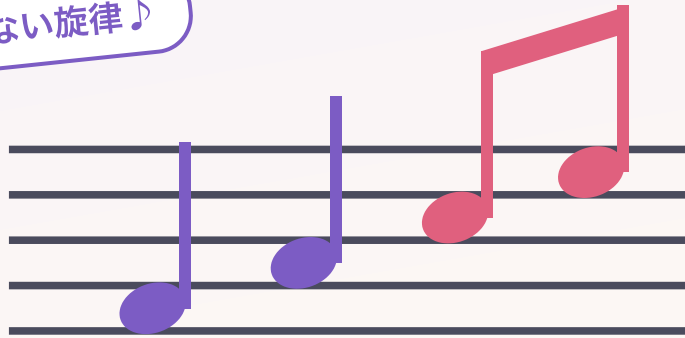


せつない旋律 ♪



物語みたい！

ロマン派

気持ちを自由に歌う音楽の時代



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

ロマン派の入り口	3～9
作曲家をめぐる	10～16
ロマン派を聴く	17～19
練習しよう	20～24
ふり回り	25～30

ロマン派とは

ロマン派は、感情や物語をより自由に表した音楽の時代です。

ロマン派とは、**およそ1820年から1900年ごろ**まで続いた、ヨーロッパの音楽の時代です。

古典派の整った形を受けつぎながら、作曲家ひとりひとりの感情や物語、想像の世界をより自由に表すようになりました。ピアノ曲や歌曲、バレエ音楽などが大きく花開きます。



ロマン派時代のできごと

ピアノ曲の広がり

歌曲（リート）の発展

交響詩の誕生

国民楽派の広がり

「ロマン派」という名前は、物語（ロマンス）のような自由な想像力を大切にしたことから来ています。

ポイント

- この時代のあとに、「近現代」とよばれる時代が続きます。
- ショパンやチャイコフスキーなど、今もよく知られる作曲家が活やくしました。

やってみよう

- 「せつない」「ドラマチック」という言葉から、どんな音楽を想像しますか。

書いて覚えよう

ロマン派の特徴

ロマン派の音楽には、いくつかの共通した特徴があります。

古典派

整ったバランス

フレーズがそろう

予想しやすい進み方

強弱はなめらか

落ち着いた変化

ロマン派

自由な感情表現

テンポがゆれる

感情に合わせて速さが変わる

強弱の幅が広い

とても小さい音～とても大きい音

ポイント

- 1曲の中で、静けさと激しさが大きく変化することがあります。
- 楽器の編成も大きくなり、表現できる音の幅が広がりました。

やってみよう

1. 「テンポがゆれる」とは、どういうことだと思いますか。

書いて覚えよう

ロマン派の作曲家は、自分の気持ちを音楽に重ねました。

ロマン派の作曲家は、自分の気持ちを音楽に重ねました。

ポイント

- 失恋の悲しみや、自然への感動など、個人の体験が曲のもとになることがあります。
- 曲名に「愛」「夜」「夢」といった言葉が使われることも多くあります。
- 聴く人も、自分の気持ちを重ねて味わうことができます。

Emma

ロマン派の曲は、聴いていると物語の中にいるみたいな気持ちになるよ。



Ken

作曲家の気持ちが、そのまま音になっているんだね。

やってみよう

1. 今のあなたの気持ちを、音楽で表すとしたらどんな感じですか。

書いて覚えよう

Chopin (1810~1849)

ポーランド生まれ。パリで活やくしたピアノ音楽の作曲家

ポイント

- ほとんどの作品が、ピアノひとりのために書かれています。
- ノクターン（夜想曲）やワルツなど、詩のように美しい旋律で知られます。
- 祖国ポーランドをはなれてからも、その音楽を大切にしました。

やってみよう

1. 「ピアノの詩人」という呼び名から、どんな音楽を想像しますか。

書いて覚えよう

シューベルト

歌曲の名手として知られる、オーストリアの作曲家です。

フランツ・シューベルト

Schubert (1797~1828)

オーストリアの作曲家。数多くの歌曲（リート）を残した

ポイント

- 詩に旋律をつける「歌曲（リート）」を、生がいの中で数多く作曲しました。
- 古典派とロマン派の橋わたしをした作曲家のひとりでもあります。
- 31歳という若さで生がいを終えました。

やってみよう

1. 歌詞に合わせてメロディをつけるとしたら、どんな言葉をえらびますか。

書いて覚えよう

文学と音楽を結びつけた、ドイツの作曲家です。

Schumann (1810~1856)

ドイツの作曲家。ピアノ曲や歌曲、評論でも知られる

- 文学好きで、音楽についての評論も数多く書きました。
- 妻であるクララ・シューマンも、すぐれたピアニストとして知られています。
- 小さな曲を組み合わせた、物語のようなピアノ曲集を多く残しました。

1. 音楽と文学、両方が好きな人にはどんな作品が向いていると思いますか。

一般社団法人文化芸術支援協会 | ロマン派 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

リスト

超絶技巧のピアニストであり、交響詩を生んだ作曲家です。

フランツ・リスト

Liszt (1811～1886)

ハンガリー出身。ピアノの名手であり作曲家

ポイント

- ピアニストとして各地で演奏会を開き、大きな人気を集めました。
- 物語や絵から着想を得た「交響詩」という新しい形を生み出しました。
- 非常に難しい演奏技術（超絶技巧）を要する作品でも知られます。

やってみよう

1. 「超絶技巧」という言葉から、どんな演奏を想像しますか。

書いて覚えよう

伝統を守った作曲家と、ロシアの旋律の名手です。

Brahms (1833~1897)

ドイツの作曲家。古典的な形式を大切にした

Tchaikovsky (1840~1893)

ロシアの作曲家。バレエ音楽や交響曲で知られる

- ブラームスは、古典派の整った形式とロマン派の感情表現を両立させました。
- チャイコフスキーは、美しく歌うような旋律とドラマチックな展開が魅力です。

1. 2人の作曲家のうち、気になったのはどちらですか。

ドイツの作曲家。大がかりな楽劇の作品で知られる

- 登場人物や感情ごとに短い旋律（示導動機）を割り当てる手法を用いました。
- 歌とオーケストラを一体化させた、大がかりな作品を数多く残しました。
- ワーグナーの音楽は、その後の映画音楽にも大きな影響をあたえています。

1. 映画の中で、登場人物ごとにちがう音楽が流れる場面を思い出してみよう。

11

歌曲（リート）

詩と旋律が結びついた、心に残る小さな音楽です。

リート

Lied (ドイツ語) / 歌曲

詩に旋律をつけた、ピアノ伴奏つきの歌

ポイント

- 詩の言葉の意味や響きに合わせて、旋律とピアノの伴奏がつけられます。
- シューベルトやシューマンが、この分野で数多くの名作を残しました。

やってみよう

1. 好きな詩や言葉があれば、それに合う旋律を想像してみよう。

書いて覚えよう

夜の静けさをえがく、おだやかな曲

技術の練習曲でありながら、芸術性も高い曲

自由な発想で書かれた、詩のような小品

ポイント

- 家庭にもピアノが広まり、演奏する人・聴く人の両方が増えました。
- 短くても、聴く人の心に強く残る作品がたくさん生まれました。

やってみよう

1. 3つのうち、聴いてみたいと思ったのはどれですか。

書いて覚えよう

物語や絵を、1つの管弦楽曲で表す新しい形です。

交響詩

symphonic poem

文学や絵画などの題材を、1つの楽章の管弦楽曲で表す形

ポイント

- リストが生み出した形で、その後多くの作曲家に受けつがれました。
- 交響曲のように複数の楽章に分かれず、1つの物語を1つの楽章で語ります。

やってみよう

1. 好きな物語や絵を1つ選び、音楽にするならどんな響きにしたいか書こう。

書いて覚えよう

国民楽派

自分の国の民謡やリズムを取り入れた作曲家たちです。

ポイント

- それぞれの国の民謡やおどりのリズムを、作品に取り入れる作曲家が増えました。
- ロシア・北欧・東ヨーロッパなど、各地でその国らしい音楽が生まれました。
- 自分たちの文化を音楽で表そうとする動きが「国民楽派」とよばれます。

やってみよう

1. 日本の民謡やおどりのリズムを、音楽に取り入れるとしたら何を選びますか。

ワンポイント 国民楽派の考え方は、日本の作曲家たちにも大きな影響をあたえました。

書いて覚えよう

ロマン派のオペラ

オペラも、ロマン派の時代に大きく発展しました。

ポイント

- ワーグナーはオペラを「楽劇」とよび、音楽と物語の一体感を追求しました。
- イタリアでは、美しい旋律を生かしたオペラが数多くつくられました。
- オーケストラの表現力が増したことで、感情の描写がより豊かになりました。

やってみよう

1. オペラを1つ見るとしたら、どんな物語のものを見てみたいですか。

書いて覚えよう

着目するポイントを決めると、ロマン派がぐっと楽しくなります。

ロマン派の音楽には、いつも物語や情景がよりそっています。

森や湖、季節の移り変わりを音で表す

文学作品や伝説を題材にする

喜びや悲しみをそのまま音にする

チャイコフスキーの、代表的なバレエ音楽

リストの、美しい旋律のピアノ曲

絵をめぐる印象を音楽にした作品

- ロマン派の音楽は、絵や物語を思いうかべながら聴くとより味わい深くなります。
- 名曲めぐりの中から、気になる1曲を見つけてみましょう。

1. 上の6つのうち、聴いてみたいものを1つえらぼう。

聴いてくらべよう

2つのロマン派の曲をくらべると、ちがいがよくわかります。

くらべるところ	曲A	曲B
テンポのゆれ	大きい・ふつう・小さい	大きい・ふつう・小さい
強弱の幅	広い・ふつう・せまい	広い・ふつう・せまい
編成	ピアノ・オーケストラ・声楽	ピアノ・オーケストラ・声楽
感じ	_____	_____

ポイント

- 同じ作曲家の曲どうしをくらべると、共通する特徴が見つかりやすくなります。
- 強弱の変化に注目すると、感情の高まりが感じ取りやすくなります。

やってみよう

1. ショパンの曲と、チャイコフスキーの曲を1曲ずつえらんで、表を完成させよう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

テンポのゆれを、体で感じてみよう。

A (ゆっくり手拍子) タン・タン・タン・タン

B (合わせる) タン・タン・タン・タン

A (だんだん速く) テンポを上げていく

B (合わせて) _____

A (急にゆっくり) テンポを落とす

B (合わせて) _____

ポイント

- Aがテンポを自由に動かし、Bがそれに合わせてついていく遊びです。
- この「テンポのゆれ」を音楽用語で「ルバート」とよびます。

ワンポイント テンポがゆれることで、感情が自然に動いているように聴こえます。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

曲が長く感情的に感じられても、コツをつかめば楽しめます。

つまずき

よくあること

感情の変化についていけない

静と動の差が大きい

作曲家の名前が覚えられない

似た時期の人が多い

コツ

こうしてみよう

場面をイメージしながら聴く

物語を想像する

代表作を1曲ずつ覚える

名前と曲を結びつける

ポイント

- 「正しく理解しよう」とせず、自分なりの物語を想像してみましょう。
- 何度も聴くうちに、感情の動きが自然に感じ取れるようになります。

やってみよう

1. ロマン派の作曲家を1人えらび、名前と代表作を書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

作曲家

☐ ショパン

ピアノの詩人と呼ばれる

☐ チャイコフスキー

バレエ音楽で知られるロシアの作曲家

☐ ワグナー

楽劇を生み出したドイツの作曲家

音楽の形

☐ リート

詩に旋律をつけた歌曲

☐ 交響詩

物語や絵を1つの楽章で表す曲

☐ バレエ音楽

おどりのための音楽

考え方

☐ 国民楽派

自国の民謡を取り入れた作曲家たち

表現

☐ ルバート

テンポを自由にゆらすこと

☐ 強弱の幅

とても小さい音～とても大きい音

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、ロマン派の曲がもっと味わい深くなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|-------|---|-----------------------|
| リート | ● | ● ア. おどりのための音楽 |
| 交響詩 | ● | ● イ. 自国の民謡を取り入れた作曲家たち |
| バレエ音楽 | ● | ● ウ. テンポを自由にゆらすこと |
| 国民楽派 | ● | ● エ. 物語や絵を1つの楽章で表す曲 |
| ルバート | ● | ● オ. 詩に旋律をつけた歌曲 |

2. ロマン派の作曲家を3人書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 物語や絵を1つの楽章で表す曲 → (交響詩 / 協奏曲)
2. 「ピアノの詩人」とよばれる作曲家 → (ショパン / ワーグナー)

書いて覚えよう

ロマン派の曲を1曲、聴いて1日をスタート

強弱の変化に耳をすませる

テンポをゆらして手拍子してみる

気に入った作曲家を1人書き出す

聴いた曲の感想をノートに書く

家族にチャイコフスキーのバレエ音楽
を紹介する

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- 同じ曲を何度も聴くと、物語の流れが感じられるようになります。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

好きなロマン派の曲を、人に伝えてみよう。

曲名

作曲家

好きなところ

感じた物語

聴いてほしい人

Emma の例

曲名 「白鳥の湖」より一部／作曲家 チャイコフスキー／好きなところ もの悲しい旋律／感じた物語 湖のほとりの静かな場面／聴いてほしい人 バレエが好きな友だち

感想を3文で書こう

① この曲は、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～からです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

ロマン派の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

動画で

バレエの舞台映像をじっくり見る

図書館で

作曲家の伝記を借りてみる

演奏会へ

ピアノリサイタルをさがす

次のステップ

近現代

ロマン派の次の時代を知る

交響詩

1曲を物語とともに聴く

ピアノ曲

ノクターンを聴きくらべる

ポイント

- この教材の次は「近現代」。今までにない、新しい響きが生まれる時代へ進みます。

書いて覚えよう

映画やCMで使われるロマン派風の旋律
をさがす

1曲を通して、物語を想像しながら聴く

テンポをゆらして手拍子をつくってみる

こたえ

L26 リート→オ 交響詩→エ バレエ音楽→ア 国民楽派→イ ルバート→ウ 2. ショパン / チャイコフスキー / ワーグナー 3. リート / 交響詩

L33 (例) ロマン派は、1820～1900年ごろの、感情や物語を自由に表した音楽の時代。

書いて覚えよう

ロマン派 (Season 6 | No.55)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。